教育委員会賞（小学校の部）

上飯田小学校　６年　三橋　史果（祖父へ）

暑さに負けない！夏バテ予防のゴーヤ弁当

おじいちゃんの畑で獲れたゴーヤを使い、調理は難しいところもあったが、地場産物を使いながら夏バテを予防する工夫ができた。発表する時は緊張したけれど、だんだん落ち着いてできた。このコンクールで、誰かのために何かをする大切さを知ることができた。

熱中症や夏バテの予防に効果的な食材を調べ、その結果、五大栄養素がすべて入ったとても健康的なお弁当になりました。おじいさんの元気・健康を考えたすてきなお弁当です。
（木村直弘・大平はな）

教育委員会賞（中学校の部）

鶴見中学校　１年　手島　隆登（父へ）

父専用、中華風弁当

横浜出身ではない父のために特産品をたくさん入れたり、チャーハン・しゅうまいで少し中華料理っぽくした。魚の生ぐさいのがきらいらしいので、カツオにはにんにく・しょうがで臭みを消した。皆すごく弁当作りがうまいと思った。

お父さんの健康を気づかい、様々な工夫がちりばめられていました。キャベツの芯はしゅうまいに、大根の葉もきんぴらに使用するなど、これからも食材を無駄なく使い切る調理を実践してください。
（木村直弘・大平はな）

教育委員会賞（特別支援学校の部）

横浜わかば学園　中１年　樽本　芽衣（兄へ）

栄養まんてん　サバ缶そぼろ弁当

いつも勉強や部活にがんばっている兄がおいしく食べてくれてうれしかった。加熱時間が短くホットプレートや電子レンジでかんたんにできるお弁当です。今回作ってみて楽しかったので、これからも料理に挑戦したい。

樽本さんのお弁当は、すばらしい！の一言です。色どりが良くきれいに並べられている様子はまさにお弁当屋さんのようです。サバ缶をカレー味にする発想力はお兄さん思いのあらわれでしょう。
（木村直弘・大平はな）

１６００人余りの横浜の子どもたちは、自分で考えたお弁当を自分で作れるようになりました。コロナ禍の中、多くの人たちが三密を避けるために孤立している状況の中、昨年に引き続き「相手意識」を大切にしたお弁当コンクールは、孤立している淋しさを温める温かなお弁当が集まりました。その上に、横浜の地場産物を使用したお弁当ということで、かなりハードルの高いテーマだったと言えます。それにもかかわらず、応募作品はレベルが高く、審査員を困らせました。今後も温かいお弁当作りを応援していきます。

（一社）横浜すぱいす　代表理事　北村克久

このコンクールを支えてくださっている団体・企業に感謝いたします。

主催：一般社団法人 横浜すぱいす　http://y-spice.com　　E-mail　bento@y-spice.com

共催：公益財団法人 よこはまユース

後援：横浜市教育委員会・(公財)よこはま学校食育財団・一般財団法人横浜市安全教育振興会
横浜市立小学校長会・横浜市立中学校長会・横浜市立特別支援学校長会・横浜市 PTA 連絡協議会
ＪＡ横浜・横浜マリノス株式会社・株式会社崎陽軒・株式会社池商

賛助：株式会社野口食品・石井商事運輸株式会社・株式会社名給・株式会社 SN 食品研究所
日東ベスト株式会社・愛知ヨーク株式会社・理研ビタミン株式会社・株式会社鳥勝
開隆堂出版株式会社・株式会社新興出版社啓林館・港南ゴルフセンター

協賛：アルファー食品株式会社・株式会社八丁幸・昭和食品株式会社

賞品提供：エバラ食品工業株式会社

協力：ユカナガシマクッキングサロン　　**参加賞提供**：ＪＡ横浜・横浜マリノス株式会社

情報科学専門学校 Web 技術科　撮影取材：竹生琳菜 櫻井星夢 友寄優華　報告書作成：木村春香 金子空人 奥山知樹